

## 平成29年度第1回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成29年6月30日（金） 10:00～11:40					
2. 会場	魚沼市中央公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
	会 長	樋口 健一	○	委 員	清水 明次	○
	副会長	橘 恵子	○	〃	羽鳥 敦子	○
	委 員	佐藤 明美	○	〃	小林美枝子	○
	〃	中林久美子	○	〃	佐藤まち子	○
	〃	那須かおる	○	〃	井川 智子	○
	〃	武藤三紀子	○	〃	梅田 愛子	○
	〃	今井 久子	○	〃	榎本 隆太	○
	〃	山本 都子	○			
魚 沼 市						
魚沼市子ども・子育て会議事務局（教育委員会） ・教育長：梅田 勝 ・教育次長：堀沢 淳 ・子ども課長：吉澤国明 ・保育園幼稚園係：森山丈順、吉田 浩 ・児童福祉係：星野 崇 ・子育て支援センター：斎藤勝浩 ・健康課健康増進室保健班：岡部 忍						
4. 資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 子ども・子育て新制度について</li> <li>・資料2 子ども・子育て会議について</li> <li>・資料3 平成29年度子ども課新規事業・制度改正事業等</li> <li>・資料4 魚沼市子ども・子育て支援事業計画 平成29年度事業評価項目</li> <li>・資料5 特定教育・保育施設の利用定員の確認内容</li> <li>・資料6 魚沼市子ども・子育て支援事業計画の見直し方法について</li> </ul>					
5. 会議概要	<p>事務局</p> <p>只今より、平成29年度第1回子ども・子育て会議を開催する。            本日新しい任期の最初の会議ということで、お集まりいただいた。今日は、11時半頃を目途に終了したいと考えている。            はじめに、配付資料の説明をさせていただく。  <b>【配布資料確認】</b>            本日は任期最初の会議なので、会長及び副会長の選任までは、事務局で進行させていただく。それから、議事録作成のため録音させていただく。            それでは、梅田教育長よりご挨拶申し上げたい。</p> <p>教育長</p> <p>おはようございます。            第1回の魚沼市子ども・子育て会議となります。それぞれの立場で委員となっていた</p>					

事務局	<p>だいている皆さんなので、どうぞよろしくお願いしたい。</p> <p>子ども・子育て支援事業計画をご理解いただきながら、皆様方から忌憚のないご意見をいただきたいと思っている。保育、子育てがスムーズにいくようお願いしたい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>「次第2 委嘱状の交付」については、皆様方のお席にお配りさせていただいており、これをもって交付とさせていただくので、受領いただきたい。</p> <p>立場が1年で終わられる方にも2年の任期で委嘱させていただいている。1年で他の方に代わられたら、その際に事務局にご連絡いただきたい。</p> <p>「次第3 委員紹介、事務局紹介」。お手元の名簿に基づいて、上から順に自己紹介をお願いしたい。</p> <p>【委員、順に自己紹介】 【事務局、順に自己紹介】</p> <p>「次第4 会長選任」</p> <p>条例に基づき、委員の互選により会長及び副会長を選出することになっている。互選の方法については、いかが取り計らうか。</p> <p>(事務局一任の声有り)</p> <p>では、事務局で用意した案がある。会長に樋口健一委員、副会長に橘恵子委員からお願いしたいと思う。よろしければ拍手により賛同をお願いしたい。</p> <p>(拍手多数)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会長、副会長から席の移動をお願いしたい。</p> <p>(会長、副会長が席を移動)</p> <p>「次第5 会長あいさつ」樋口会長、橘副会長からごあいさつをお願いしたい。</p>
会長	<p>4月から小出小学校に着任した、校長の樋口です。出身は小出町で、小出小学校が母校。なかなか母校の校長の任は良い様で色々ある。</p> <p>3月までは、県の生涯学習センターにいた。家庭教育支援事業もやっていたが、なかなか難しいと思いながら仕事を進めていた。</p> <p>小出小学校に着任してまず思うのは少子化の実感。小出小学校は、学年で5つ教室があるが、今は多くの学年が2クラスになっている。児童数も以前は800人以上いたが、今は420人ほどとなっており、半減していて、少子化を実感している。</p> <p>この会議は、子育て支援の施策について、市民の皆さんの色々な立場の声を反映するものになるので、活発なご発言をお願いしたい。</p>
副会長	<p>退職まで40年以上市の保育士として務めてきた。今は退職し、主任児童委員を務めている。色々な意見を出し合って魚沼地区の子ども達が健やかに育つよう会議で意見を出し合っていきたい。</p>

(会長)	(以降は、子ども子育て会議条例により会長が議長となり進行)
議長	<p>それでは、次第に沿って議事を進めてまいりたい。</p> <p>次第6「子ども・子育て支援新制度について」事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料1【子ども・子育て支援新制度について】</p> <p>資料2【子ども・子育て会議について】 により説明</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料1では、国の進める子ども・子育て新制度と、それを受けた市の事業の内容について説明いただき、資料2では、この会議の役割、進め方について事務局からご説明いただいた。</p> <p>これだけは聞いておきたいという確認事項があるか。</p>
委員	<p>子ども・子育て支援事業計画について、計画と実績の差を魚沼市ではどのように考えるか。</p>
事務局	<p>そのことについては、この後の議事の中で審議いただく予定なので、その中でご説明させていただきたい。</p>
議長	<p>制度の概要と子育て会議の役割についてはよろしいか。</p> <p>それでは議事に入りたいと思うが、その前に委員のうち、新規の方と継続の方の別を紹介いただきたい。</p>
事務局	<p>【委員のうち、新規・継続の別を説明】</p>
議長	<p>議事1「平成29年度の魚沼市子ども・子育て施策について」事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料3【子ども課 新規事業・制度改正事業等】により説明</p>
議長	<p>今年度の新規事業と、子ども・子育て支援事業計画との関連について加えて説明いただくと、皆さんが計画の中の事業の位置付けが分かると思うが。</p>
事務局	<p>そこまで含め説明すべきであった。</p> <p>【計画上の事業の位置付けについて説明】</p>
委員	<p>今年度からの第2子以降の無償化は、量の見込みに影響がないか。</p>

事務局	<p>平成 29 年度からということなので、今後影響が出てくる可能性はあるが、今のところ、平成 29 年度の申込を見る限り、大幅な増加は見られていない。今後の状況を見て、中間年の計画変更反映していきたいと考えている。</p>
委員	<p>量の見込が増えるとなると、受け皿を拡大することになるわけだが、質の確保という観点で保育士の確保が難しいのでは。そういうところまで含めて市は施策を考えているのか。また、県内では珍しいということだが、他市での参考事例はあるか。</p>
事務局	<p>量の確保が質にどう影響するかということだが、量を増やすことで保育士の数に影響が及ぶようならそれを含めて計画を見直ししていきたい。</p> <p>無償化について県内での事例はない。無償化により利用者が増えたか県外の 2 つの自治体に聞いたが、量の見込みの増減については分からないという返事だった。というのも、子育て支援施策を複合的に実施しており、例えば無償化とあわせて保育園の整備をしていたり、少子化の影響で利用児童数がむしろ減少したりしていて、参考にできる自治体はなかった。市長の施策として、まずは子育て世帯の経済的な負担軽減を図るということを挙げており、そのことで質がおろそかになるようではいけないので、それについても見込みを立てた上で、必要があれば計画に盛り込んで対応したい。</p>
委員	<p>各保育園に発達支援コーディネーターの研修については、私立も参加させていただいている。ありがたいと思っている。公立保育園の副園長は、もう資格を持っているのか、そうではなくて、この研修をとおして育成を図っていくのか。</p> <p>今回、めぐみ幼稚園に声を掛けてもらったのも、私立園でも発達障害児の利用が増えているからということだと思うが、公私の関係なく、こうした取組について声がけをいただけるのか。</p>
事務局	<p>発達支援コーディネーターの研修は、新たな取組として全 6 回の養成プログラムで実施する予定で今年度からスタートさせたもの。副園長は、特別な資格を持っているわけではなく、研修を通してスキルを身につけてもらい、現場での支援に生かしてもらいたいと考えている。</p> <p>研修も今後継続的に実施していきたい。</p> <p>副園長は現在も発達支援のコーディネーター役として園で活動してもらっているところだが、これまで以上にスキルを向上させてもらいたいという意図で研修を受けていただいている。</p> <p>今後も研修等企画した際には、私立園にも声がけをしたい。</p>
委員	<p>発達支援は注目されているが、その他の障害をお持ちのお子さんについて何らかのケアをしているか。</p>

事務局	平成 29 年度については、昨今の状況からニーズが高いものと考え、発達障害に関連した新事業に取り組んでいるところ。子ども・子育て支援事業計画関連の有無を問わず、障害児福祉の観点からもサポートは行っている。
委員	家庭だけの対応では難しい面もある。今後の支援センターの事業の中で、健康増進室はこうした情報も把握しているものと思うので、健康増進室とも連携しながら取組を進めていただきたい。
議長	行政内でも連絡を取りながら、支援に繋げてほしいというご意見だ。
事務局	子育て支援包括支援センターについて、平成 32 年度から市町村に設置が義務付けられることになった。妊娠期から出産期、子育て期まで、いわゆるワンストップでセンターにおいてケアをしよう、支援しようという位置付けになるが、障害の区分に関わらず、あるいは発達の程度に関わらず支援することになる。現在においても、部署が分かれていてもなるべくそのような体制をとりたいと思っている。近い将来そういった構想もある。
事務局	資料 4【魚沼市子ども・子育て支援事業計画 平成 29 年度事業評価項目】により説明。
議長	ぱっと見ても良く分からないが、計画に沿って事業が進められているということ。特にご意見がないようなら、次に進みたい。
事務局	資料 5【特定教育・保育施設の定員の確認内容】により説明
議長	皆さんから意見や質問があるか。
委員	<p>当園の利用定員の変更のことなので、補足して説明させていただきたい。</p> <p>保育園では、利用児童が少なくても、利用定員に見合った保育士の確保が必要になる。面積の関係もある。どういう保育をしたら子ども達にとって良いかを考えた。認可定員はあくまでも 190 人である。利用定員を 160 人とする保育の交付金の単価が上がる。いないものを待ち続けても意味のないこと。少子化の影響で利用者が減っている。とりあえず平成 29 年度から平成 30 年度までくらいはこの利用定員で運営していきたい。保育園の運営は、適正に、きちんとやっていくつもりだ。</p> <p>定員は定員として、15%くらいまではこの定員を超えて受けることができる。決して小出保育園の事業を縮小するものではない。誤解のないよう補足させていただいた。</p>
議長	<p>キャパシティとしてはあるが、とりあえず利用定員を実情に合わせるということでした。他に意見はない様なので、異議ないものと認めます。</p> <p>それでは、次に議題に進みたいと思います。</p>

事務局	資料6【魚沼市子ども・子育て支援事業計画の見直し方法について】により説明
議長	事務局の説明について、ご質問やご意見があればお願いしたい。いかがか。
委員	見直し計画の素案が出来上がったら、早めに送ってもらいたい。
議長	第2回の前に配付してほしいということだが、なるべく早めにとということなので、事務局からそのようにお願いしたい。
委員	少子化に伴い、公立保育園も定員を適正な数量に見直してもらいたい。公立は、税金をいつまでも使っていないで、統廃合などで適正化を図るべきだ。つくしもさくかも統合したが、最後はどちらも5人くらいだった。経済的なものもそうだが、少人数では教育効果も上がらない。子ども達同士でも切磋琢磨が必要。公立保育園の規模として、学年20人として、60人は必要だ。厚生労働省もそのように示している。子ども達の将来を考え、決して地域エゴでなく、進めるべきだと考える。
事務局	計画では量の確保が必要になる。量が確保されている上で、公私の割合を示す考えはない。統合は進めているところ。この計画期間内に次の統合の予定はない。直接的には書かないが、計画には影響を及ぼすものと考えている。
委員	公立と私立は一緒にならない。公立は公立の良さを生かして、私立は私立の良さを生かしてそれぞれ運営していくべきだ。私立園のことで魚沼市が担っているのは入退園のみ。後は理事長に任されている。公立と私立は統合することはない。
議長	保育園の統合について、この会でも踏み込んでいくのか。
事務局	定員管理の観点ではこの会議でご審議いただくことになるが、今年の計画の見直しではそこまで踏み込まない。
議長	他に意見がないようなら、次に進みたい。 「その他」であるが、せっかくの機会なので、委員の皆様からご発言をいただきたいがどうか。
委員	関東の方をお呼びして、貧困家庭のことを講演でお聞きした。以前当時の教育長に市内の貧困の状況についてお聞きしたところ、把握していないということだった。 現在は把握をし、対策を考えるようなことはしているか。
事務局	その時の話題に上ったのが、いわゆる貧困ライン、全体の分布があって、中央値があ

	<p>って、貧困ラインがある、ということだと思うが、こうしたものに関する魚沼市の、統計的なデータが存在しない、ということをお返したものだと思う。それに替わる指標として学校教育課で実施している就学援助の数に置き換えることができる。支援策としては、事業ごとに減免等に対応しているところ。子どもの貧困だけをとり子育て支援の中で全て対応できるかというところ難しい。雇用の問題などにも及ぶので全庁的な課題だと思っている。</p> <p>必ずしもひとり親がそうだというわけではないが、結果的にそういう世帯が多いので、ひとり親への支援なども行っている。</p>
委員	<p>幼稚園の利用の保護者で、どう子どもを育てていいかわからない方が増えているようだ。子どもの言うことを全て信じてしまう方がいる。今日はおなか痛いといるので休ませる、とか、今日は〇〇が嫌だといるので休ませようと思ったりとか。そういう親御さんが少しずつ増えてきている。親御さんだけではなく、社会全体での子育てが必要だと思うが、どのように親御さんと話をしたらよいか。まずは親御さんの気持ちを受け止めて、とはよく言われるが、どのようにしていったら良いか迷うことがある。とりあえず連れてきてくださいといえれば親御さんの考えを否定してしまうように思う。話を聞く機会を増やしてもらいたい。忙しくなると、子どもの服にウンチがついていたり、余裕のない方も増えている。でも働かなくてはいけない。どのように接していったらよいか。子育て支援ということであれば、親へのサポートを検討してもらいたい。強くいえない親。言いなりになる。</p>
議長	<p>核家族化が進んでおり、子育てのノウハウが伝わっていないとよく言われる。施策に関連して、事務局から発言をお願いしたい。</p>
事務局	<p>親支援ということだが、それぞれの場面では、主に子育て支援センターを中心に事業に実施している。いただいたご意見を参考に事業に生かして行きたい。子育て支援センター管理事業の中での取組があるので、センター長から2、3説明したい。</p>
事務局	<p>子育て支援センターでは、随時子育て相談を受け付けている。お母さんによっては、相談室で1時間ほどじっくり相談される方もいるし、親子広場の合間にちょっとした相談もある。その他、マニュアルに沿ったペアレントプログラムとして子育て講座も開催しているところ。夜開催の子育て講座もやっている。まずは、広場に足を運んでもらえるように、ベビーマッサージなど興味を持っていただけるような企画で、センターに来ていただいで、相談につなげていくということで事業を進めている。</p>
議長	<p>皆さん委員のお立場で、困ったら子育て支援センター、ということでPRいただければと思う。よろしくをお願いしたい。</p>
委員	<p>直接的に子育てに関わってくるか分からないが、5月に市長との対話に参加し、子育て</p>

	<p>てのホームページがあまりにも簡易であることを発言させてもらった。場所と電話番号とFAXしかない。現在もそのままとなっている。是非改善していただきたい。</p> <p>私は直接関係ないが、湯之谷やくしクラブのページを見た。何をしているか分からない。定員数も開所時間の記載もない。冊子でもいいが、ホームページでも分かるものは全部分かるようにしてもらいたい。保育園のほうも一時預かりだけでも時間で料金、子育て便利帳に載っていることくらいは載せてもらいたい。冊子も良いが、若い人はホームページのほうがありがたい。ぜひ改正をしてもらいたい。</p>
議長	<p>ホームページの内容の充実、改善の要望ということ。検討いただきたい。</p>
事務局	<p>ホームページが見つらいと言うご意見はよくいただいている。全庁的な課題とも認識しつつ、直せる部分は速やかに見直ししていく。</p>
委員	<p>梅田委員にお聞きしたいのだが、障害児の運動教室への参加の状況はどうか。</p>
委員	<p>園を訪問して運動教室を実施しているが、みんなで一緒に参加してもらっている。私が把握しておらず、みんな一緒に動く。基本的にはそうしたサポートはなく、楽しく動いていると思う。</p>
委員	<p>子ども達の中で出来たね、やったね、というほめ言葉や経験が大切。上手に導いてほしい。できることを伸ばしてほしい。</p>
委員	<p>子どもの「出来た」の経験は、何事にも変えがたい財産の積み重ねになっていると思う。運動ということのイメージは様々だが、保育園で活動をさせてもらっていることは、誰でもできることを自分で体をコントロールしていくことを中心に進めている。子どもたちはますます体を使わなくていい時代になってきつつあるが、そこを積み上げてあげることが大事だと思っている。何年前からか、行政から組んでいただいて運動教室をやらせてもらっていることはありがたいと思っている。</p>
委員	<p>私事だが、うちの子も21になるが、10年前くらいからダンス教室に通っている。一般的なものとは違って、音を聞いて、感じたように体を動かすようなことをやっているところだが、うちの子は耳が聞こえないので、どうかな、と思ったが、すごく自由に踊ることが出来ている。支援学校は部活がないし、障害児は動くことが嫌いになりがち。小さいときから運動することが習慣になっていけば、大人になってからも運動する習慣になる。継続して実施していただきたい。</p>
議長	<p>子ども達の可能性を広げてほしいという意見だった。</p> <p>他に意見がない様なら、これで議題を終了する。</p> <p>進行を事務局にお返ししたい。</p>



事務局	最後になるが、教育次長から閉会のご挨拶を申し上げる。
次長	<p>本日はお疲れ様でした。</p> <p>この会議の中でも度々話題に出てきているが、少子化が進んでいくことは確かである。ただし、保育園の全体的な園児数は減っているが、一方で未満児はどうかという別問題になろうかと思う。保育士の数、部屋の面積など関わってくる部分もあるので、利用見込みを十分に把握しながら子ども・子育て支援の業務を進めていきたい。</p> <p>学校現場についても色々な支援が必要なケースもある。様々な課題を抱えている。学童についても、昔はかぎっ子だったが、今は学童保育で面倒を見ており、6年生まで対象が拡大しており、利用児童数は増えている。</p> <p>子育て支援として0歳児から中学生、高校生までを対象に事業を進めているところであり、今後計画変更等の際は、皆さんからまたお知恵をお借りしたいと思う。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>